

見どころ紹介

① 広島市水道局戸坂取水場 呉市戸坂取水場

住所: 戸坂千足二丁目1番3号

広島県広島水道事務所戸坂取水場

住所: 戸坂惣田一丁目12番1号

大日本帝国海軍の軍用水道「呉鎮守府水道」取水場および浄水場が現在地に作られ、その後呉市に移管した。現在は、「広島市水道局戸坂取水場」と「広島県広島水道事務所戸坂取水場」(太田川東部工業用水道)「呉市戸坂取水場」の3施設が並んでおり、ここから、広島市内だけでなく、江田島や能美島、上蒲刈島へも給水が行われている。また、これら取水場付近の太田川中流域は環境省の名水百選に選ばれている。



② 禅昌寺

住所: 戸坂山根三丁目2番7号
派: 曹洞宗
尊: 観音世菩薩



元和元年(1615年)に奈良県補庵寺の東庵守陽禅師により広島市中区に創建された。藩政時代は藩の重役の菩提寺であり、また禅の道場となっていた。戦災復興のため都市郊外開発の将来を見越して、昭和40年に戸坂くるめ木に境内を移転し復興した。その後、昭和55年に現在地に移転した。

③ 重氏稲荷神社(惣田)

住所: 戸坂惣田二丁目8番3号
主祭神: 重氏稲荷大明神

主祭神は、伏見山に鎮座していたが、元和5年(1619年)徳川時代に初代広島城主浅野長晟公が紀伊の国(和歌山)より転封の際、広島城内に社殿を造営して祀った。明治初年、松笠山(戸坂東山)に稲荷神社に主祭神とし遷座、今日まで祀られている。昭和27年に現在地(惣田)の社殿を造営して分魂を祀り、平成7年に新社殿を造営した。



④ 琴比羅神社

住所: 東区戸坂町687番地
祭神: 大汝神(大国主神)、少彦名之神

医薬の術を世に伝え、病気を治す御神徳があり、持病を治す靈験があらたかと広く信仰されていた。創立年代は不明であるが、万延年中(1860年)「滝の金毘羅宮社記」によると、建武年中(1334年~35年)に足利尊氏が社頭に額面を寄進したと記している。(『戸坂町誌』より)



⑤ 龍泉寺観音

住所: 東区戸坂町687番地
尊: 聖観世音菩薩



神社に付属して置かれた神宮寺で、旧名は、金毘羅山竜泉寺観音。文政2年(1819年)西国八十八番札所となり、もっぱら観音の秘法を厳修し、領国の安泰と家内息災延命を祈願し、お守り札を人々に授けた。(『戸坂町誌』より)

⑥ 原神社

住所: 戸坂惣田二丁目2番
祭神: 八幡神

鎮座地一帯を「惣田原」というので、里民がこの社を原神社と呼ぶようになった。創立年は不明であるが、天文2年(1533年)に祭られたといわれている。神殿は文久2年(1862年)、拝殿は万延元年(1860年)に再建。現在の建物は平成16年(2004年)に改築されたものである。石灯笼は文化4年(1807年)に寄進されている。(『戸坂町誌』より)



戸坂へのアクセス

バス

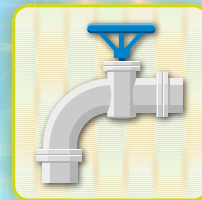
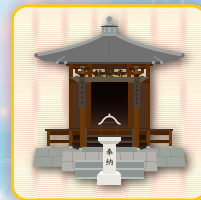
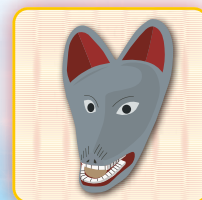
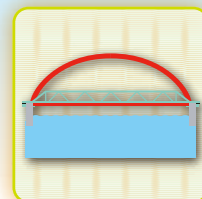
- JR広島駅から
Bホーム8番から「高陽A,B,C団地」方面行き(広島バスセンター経由)、「千足」バス停下車
駅前福屋前から「高陽A,B,C団地」方面行き(にぎつ経由)、「千足」バス停下車(学校まで約200m)

JR

- 広島駅から芸備線に乗り、戸坂駅で下車(学校まで約500m)

へさか ウォーキングマップ

戸坂の町なみと自然と文化に
ふれる坂道コース



第10回 東区健康ウォーキングのつどい

発行: 広島市東区厚生部健康長寿課
制作協力: 東区公衆衛生推進協議会
参考資料: 『戸坂町誌』 著者 狐瓜木神社 木村八千穂
戸坂の神社・寺院マップ(戸坂アーカイブ委員会作成)

平成28年11月発行